

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

プロジェクト名	つながりのあるまちづくりプロジェクト		実施期間	H30～H32	テーマ	その他（市民協働）	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	持続可能なまちづくりに向けては、市民や地域との協働のまちづくりが不可欠となっているが、人口減少や価値観の多様化などにより、基盤となる地域コミュニティの機能低下が懸念されており、いかに地域のコミュニティ機能の維持・充実を図るかが重要となっている。また、時代の流れと共に、地域の課題は多様化しており、行政だけでは解決できない課題が多くある。そこで市民・団体・大学などとの協働により、まちづくりを進め、市民が主役となって様々な施策を実施することにより、地域課題の解決ができることを期待できる。							
プロジェクトの目的及び概要	まちづくりの基盤となる地域コミュニティの維持・活性化に向けて、地域主体の活動を支援しつつ、国内外のさまざまな交流活動を推進し、多文化共生のまちづくりを進め、複雑化・多様化する地域課題に対して、市民や地域、事業者、学校、行政などの多様な主体がさらに連携し、協働によるまちづくりの推進を図る。							
	総事業費（千円）	301,076	本年度事業費（千円）	43,696	交付金額（千円）	17,425		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	議会ICT化推進事業	関連事業	ペーパーレス会議システム及びタブレット端末の導入		ICT化を推進し、開かれた議会を行うことにより、広く情報発信をすることができ、ペーパーレス化も図れた			
	ペーパーレス会議システム導入	関連事業	タブレット型ノートパソコン導入		ノートパソコンの導入により、ペーパーレス化を図りながら、市民に広く情報発信ができる体制が整備できた			
住民 協働 事業	国際交流事業	交付対象事業	国際交流活動、在住外国人支援		市民を対象にした国際的な交流活動や外国語教室の実施により、外国人住民が安心して暮らせるための環境づくりに取り組んだ。			
	自治振興補助事業	交付対象事業	地域活動拠点施設の整備補助		行政区が主体となって行う集会所の新築や改築、公園等の整備や改良等、環境整備に対して補助を実施 44件			
	市民協働推進事業	交付対象事業	市民提案型まちづくり活動支援交付金		市民団体が主体となって地域などの公共的な課題を解決する提案・実施する事業を支援 25件			
	なんたん中間支援センター運営事業	交付対象事業	市民活動の支援、指導等の拠点運営		市民協働のまちづくりを一層推進し、地域活動の変化に伴う団体の複雑なニーズに対応した支援を行った 相談件数 716件			
	道路河川等清掃活動補助事業	関連事業	道路河川等の清掃活動に対する補助		地域団体が実施する市管理道路、河川等の清掃活動経費の一部を助成し、地域住民自らの活動を支援した 41団体			
	美山町地域振興会支援事業	関連事業	美山町地域の5地域振興会に対する活動支援		住民自らが地域課題に向き合いその解決策を探り、活性化の取り組みを行う振興会を支援した 5地域振興会			
	小学校跡施設利活用推進事業	関連事業	閉校となった小学校跡施設の活用		閉校となった小学校跡施設を地域活性化センターとして活用し、旧小学校単位での地域活性化を推進した 7施設			
地域振興事業	関連事業	1まち1キャンパス事業補助金		地域の課題に対して大学のノウハウや京都府との連携の中で課題解決に向けた活動を支援した 3事業				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

成果指標①	成果指標の目標数値	地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加した人の割合（市民意識調査） H35 50%		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	55.9%
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	成果指標の目標数値は将来年度であるが、今年度で目標数値を上回った	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
成果指標②	成果指標の目標数値	中間支援組織の相談件数 H35 750件		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	716件
	成果指標の達成状況	－	（左の理由）	成果指標の目標数値が将来年度であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
成果指標③	成果指標の目標数値	南丹市国際交流協会会員数 H35 100人		成果指標の実績値 （平成31年3月31日時点）	72人
	成果指標の達成状況	－	（左の理由）	成果指標の目標数値が将来年度であるため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	市民団体が主体となって地域の公共的課題を解決する取り組みに対して支援や補助を行うことで、市民活動の活性化を図ることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	行政だけでは解決できない課題に対して、市民団体等との協働を促進することにより、課題の解決につながった。			
	府と市町村等との連携に資する成果	地域振興事業「1まち1キャンパス事業」では、京都府の事業と連携して取り組み、地域に愛着を持ち、地域に貢献する人材を育てることを目指す活動を支援した。			
	住民の自治意識を高める成果	地域活動や市民団体活動を支援することで、住民自らが公共的な課題解決に取り組み、活性化を目指すなど自治意識の高揚を図ることができた。			
	リーディング・モデル成果				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：南丹市

	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。